

DX対応コース 全46コース（2022年4月現在）

DX(デジタルトランスフォーメーション)の定義は、データとデジタル技術を活用して、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化、風土を変革し、競争上の優位性を確立することとされています。これらを推進するためには、社内においてDX活動をけん引するDX人材の育成が不可欠です。

生産性向上人材育成支援センターでは、今般、カリキュラムモデルを選定・拡充し、多くの企業が有する共通の課題を3つに大別し、それぞれの課題解決に対応したコースと企業のデジタル化を下支えする「ネットワーク・セキュリティ」に関するコース「DX対応コース」をご用意しました。

当センターではこれら「DX対応コース」を通じて、中小企業・事業主団体の“DX人材の育成”を支援しています。

デジタル化と新しい生活様式の課題への対応(全12コース)

分野/バックオフィス	推奨対象/中堅層管理者層	分野/組織マネジメント	推奨対象/中堅層管理者層
コース名	企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント	コース名	テレワーク業務における労務管理
生産性向上を目指したIT活用に向け、費用や納期を検討し情報システムの開発に関する管理及びシステム監査、関連法規を理解する。		テレワーク特有の労務管理上の課題及び対応策を理解し、自社の労務管理を見直していくためのポイントを習得する。	

業務プロセスの課題への対応(全19コース)

分野/バックオフィス	推奨対象/中堅層管理者層	分野/営業・販売	推奨対象/中堅層
コース名	失敗しない社内システム導入	コース名	マーケティング志向の営業活動の分析と改善
業務をシステム化する上で、必要となるシステム構築の流れやユーザ視点におけるシステム化に必要な知識を理解する。		マーケティングの本質とマーケティング志向の営業活動を理解し、自社の商品又はサービスの価値を提供するに当たってのマーケティング志向の営業活動について、分析し、改善策の検討方法などを習得する。	

ビジネスモデルの課題への対応(全9コース)

分野/バックオフィス	推奨対象/中堅層管理者層	分野/組織マネジメント	推奨対象/管理者層
コース名	DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入	コース名	IoTを活用したビジネスモデル
自社の業務変革を目指して、業務のシステム化に向け、自社のニーズに合致したシステムを企画できる知識を習得する。		自社におけるIoTを活用したビジネスの展開をめざして、IoTやビッグデータ活用の進展によるビジネス環境の変化や動向を理解し、IoTビジネスを具体的に検討するためのポイントを習得する。	

ネットワーク・セキュリティの課題への対応(全6コース)

分野/倫理セキュリティ	推奨対象/IT部門担当者	コース名	情報漏えいの原因と対応・対策
		情報漏えいが発生する原因と発生した場合の対応、防止するために必要となる対策を理解し、情報漏えい発生ゼロを実現する組織体制確立のためのポイントを習得する。	
※上記以外にも訓練コースをご用意しています。			

利用者の声

フンドーキン醤油株式会社

利用コース「新サービス・商品開発の基本プロセス」（2日・12時間）

主な内容・新商品企画のプロセスの枠組と体系
・市場機会分析（新商品アイデアの発掘）の進め方
・新商品企画プロセスの進め方 等

＜訓練を利用した事業主の方の声＞

今回は商品開発部だけでなく、企画された商品の試作や工場生産への落とし込みを担当する研究所スタッフと共に受講しました。これまで同様の他研修を受けた経験者は、訓練を受講して「わかっていたつもりが、わかっていなかった」と気づくことができました。特に、講師が事前に店舗を観察し、的確なアドバイスを伝えていただいたことにより、具体的なイメージが湧いたと思います。又、スタッフ全員が同時に課題に取り組むことで、共通した「苦手なところ」を確認でき、チームの弱点として共有認識することもできました。企画会議でのディスカッションが以前よりも活発になり、訓練で得た分析シートの活用も見られます。今後は、自分たちの得意不得意なポイントをあらかじめ洗い出しておき、課題にマッチした訓練をタイムリーに活用できればと考えています。

＜訓練を受講した従業員の方の声＞

【Aさんの声】（商品開発部開発課 商品開発担当）

市場分析や商品コンセプト立案に関して苦手意識がありました。市場分析からターゲットティング、ポジショニングとどのように順序立ててコンセプト作成につなげていくか実践を通して学習でき、今後の商品企画に役立てていけると感じました。

【Bさんの声】（食品科学研究所研究課 モデル品の開発担当）

私は「美味しいものが魅力的な商品なのは」と考え、商品開発のプロセスについては考えることがありませんでした。この訓練でマーケティングを学び、企画・立案している立場の苦労が少し理解できました。今後は商品開発について、魅力的な商品と一緒に作り上げようという意識で、訓練内容を生かしていきたいと思っています。



生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンターに設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！
・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全125コース【'22.01月現在】）

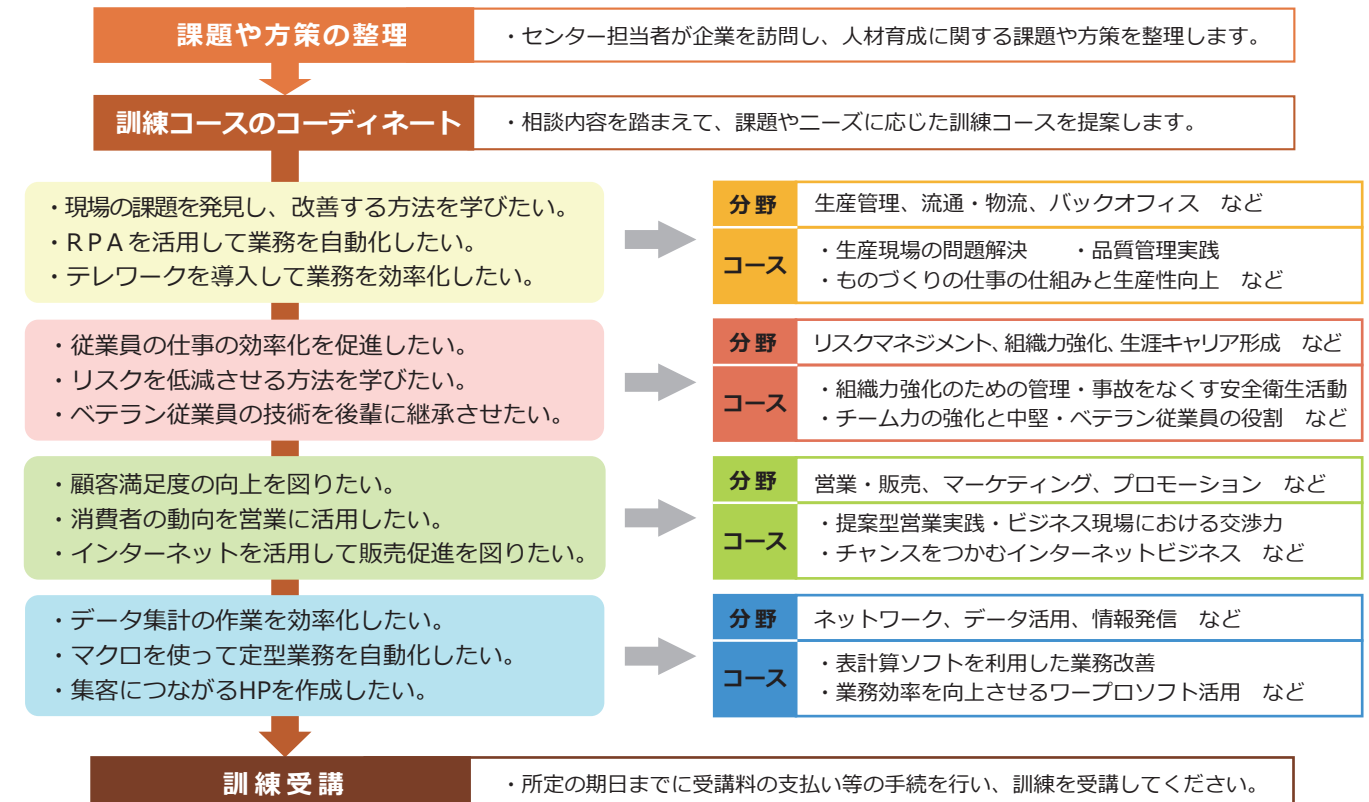
2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！
・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
・実施日時や訓練時間も調整可能（標準訓練時間：6時間～）
※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています

3 受講しやすい料金設定！
・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
※たとえば、受講者10名様にて品質管理実践(6時間コース)を設定した場合、総額33,000円、1人あたり3,300円となります
・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能



全国実績（累計） 受講者数 135,093人 ※'17～'22.3月末まで 利用した企業数 44,393社 ※'17～'22.3月末まで 受講者評価 98.2%（業務への役立ち度） ※'17～'22.3月末まで

訓練受講までの流れ



※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。
※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。
※受講の対象者は、事業主から指示を受けた方となります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部

ポリテクセンター大分 生産性向上人材育成支援センター

〒870-0131 大分市皆春1483-1

TEL：097-529-8617 FAX：097-522-1161

ポリテクセンター大分



～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～(2022.07)

令和4年度 生産性向上支援訓練コース（主なコース）

目的A 生産・業務プロセスの改善	分野	推奨対象	コース名	概 要
	生産管理	初任層	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
		中堅層	生産現場の問題解決	生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。
	品質保証/管理	中堅層	品質管理実践	品質管理の考え方を理解し、不良・クレームゼロを実践するために必要な知識と技能を習得する。
	流通/物流	中堅層	卸売業・サービス業の販売戦略	サービス業の経営上の特質を知り、卸売業・サービス業の販売戦略を構築できる知識及び技能を習得する。
	バックオフィス	初任層	テレワーク活用	テレワーク時に必要なコミュニケーション方法、ソフトの活用方法、各種ソフトの使い方やそれらを活用した業務の効率化や生産性向上の方法について習得する。
		初任層	企業価値を上げるための財務管理	財務の概念と財務諸表の構造を知り、コスト、資金管理、財務分析の手法を理解することで、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。

目的B 横断的課題	分野	推奨対象	コース名	概 要
	組織マネジメント	初任層	現場社員のための組織行動力向上	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。
		中堅層	業務効率向上のための時間管理	限られた人員で最大限の成果を上げることによる労働生産性の向上をめざして、客観的に仕事の進め方を分析することで、仕事が進まない原因を取り除き、業務の効率化・スピード化を促進できる仕組みづくりを行うための知識を習得する。
		管理者層	組織力強化のための管理	組織における管理者の役割や、組織力の強化のための具体的な手法を理解し、組織目標の達成に向けた強い組織の構築手法を習得する。
		管理者層	職場のリーダーに求められる統率力の向上	職場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能や職位に応じた組織を統率するための能力を理解し、職場のチームワークを牽引できる能力を習得する。
		管理者層	管理者のための問題解決力向上	組織課題に対し、業務の問題の本質を的確に捉え、業務の問題解決を図るための手法を学び、管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得する。
	生涯キャリア形成	中高年齢層	チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割	中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るための知識と技能を習得する。
		中高年齢層	フォロワーシップによる組織力の向上	中堅・ベテラン従業員が組織形態や管理者の役割等を理解し、職場の組織力向上のためチームをアシストするための知識と技能を習得する。
		中高年齢層	効果的なOJTを実施するための指導法	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がもつ経験や技能をOJTを通じて後輩従業員に伝達するための知識と技能を習得する。
		中高年齢層	後輩に気づきを与える安全衛生活動（点検編）	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った安全衛生の要点、リスクを低減するための点検手法を整理して、後輩従業員に対して気づきを与える安全衛生活動の知識と技能を習得する。

目的C 売上げ増加	分野	推奨対象	コース名	概 要
	営業/販売	初任層	ビジネス現場における交渉力	営業やサービスを提供する現場では、相手と接する時間の中で生産的なやりとりをしていくことが求められる。こうした対応力をもって生まれた性格によるものではなく、必要なビジネススキルの習得によって高まる対応能力であり、本コースでは現場の第一線で活躍が期待される社員がもつべき交渉スキルを習得する。
		中堅層	提案型営業実践	自社もしくは自身の営業スタイルを認識し、顧客の不満や問題点、要望など、顧客の立場に合わせた提案書作成から顧客への提案実施・説明ができる能力を習得する。
	マーケティング	初任層	実務に基づくマーケティング入門	実務に基づいたマーケティング活動を行うため、マーケティングの基礎知識、マーケティング業務の流れを理解し、企業内での自部署だけでなく、企業全体で顧客を満足させるマーケティング手法を習得する。
	企画/価格	中堅層	製品・市場戦略	製品計画、製品戦略及び市場戦略の概要について理解し、製品（サービス）の製品戦略の立案方法について習得する。
		中堅層	新サービス・商品開発の基本プロセス	ヒット商品の考え方、アイデアの出し方及び自社資産の活用方法を理解し、企画書の作成を行い、サービス、商品づくりの基本プロセスを習得する。
	プロモーション	中堅層	チャンスをつかむインターネットビジネス	インターネットを活用した広告及びコマースの現状を理解することで、インターネットを活用したビジネスチャンスの拡大を検討できる知識を習得する。

目的D IT業務改善	分野	コース名	概 要
	ネットワーク	社内ネットワークに役立つ管理手法	ネットワークを活用した生産性向上を目指し、ローカルエリアネットワーク（LAN）の技術や機器のネットワーク接続方法を習得し、ネットワーク設定に必要な通信プロトコル及びTCP/IPの基本コマンドを理解する。
	データ活用	表計算ソフトを活用した業務改善	表計算ソフトについて、業務で必要となる各種用途に応じた実習を通して、業務改善につながる活用方法を習得する。
		業務に役立つ表計算ソフトの関数活用	業務の効率化を目指して、事務処理に必要なデータ処理における表計算ソフトの関数の効果的な活用方法を習得する。
		効率よく分析するためのデータ集計	効率よく大量のデータを分析するための、表計算ソフトを活用したデータ集計手法を習得する。
		表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化	表計算ソフトを活用する際、業務効率を向上させるために必要となる定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法を習得する。
		業務効率を向上させるワープロソフト活用	実用的でわかりやすい文書を作成するためのポイントを理解し、チームや組織全体の業務の効率化を図る。
	情報発信	S N S を活用した情報発信	広報に用いるSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の利用方法と、ネット炎上が企業及び従業員に与える損害や被害に関する事例を通してSNSに潜む危険性を理解し、SNSの正しい活用方法と情報発信方法を習得する。
		相手に伝わるプレゼン資料作成	プレゼンテーションソフトを活用し、相手に伝えたい内容をよりわかりやすく伝えるためのプレゼン資料作成方法を習得する。
	倫理セキュリティ	脅威情報とセキュリティ対策	社内の情報セキュリティを維持するために、セキュリティポリシーの必要性を理解し、セキュリティ対策に必要な知識と技能を習得する。

* 上記以外にも生産性の向上に効果的な訓練コースをご用意しています。
* 生産性向上支援カリキュラムモデルを基に、企業が抱える課題やニーズに応じて、オーダーメイドでカスタマイズできます。